



# 日々の授業で自分を育てる

学校長 村越 新

講話朝会で「**全体の学び合いを大切に**」という話をしました。その効果を、いくつかの点で観じます。

まずは、学校全体が静かになりました。「**みんなが黙ってから発言する**」ことを教師も子供たちも体現してくれているからだと考えます。また、道徳や学級活動以外でも、**顔が向かい合う**机の形で学習を進めている授業がとて増えました。さらに、発言に対して**拍手**が起る場面を多く見るようになりました。友達の発表を



**頷きながら**聴いている子がとて増えました。このような学習を進めている学級からは、温かい雰囲気を感じています。**笑顔**で学んでいる子が多いです。

さて、世界一のエステシャンと言われる今野華都子氏（タラサ志摩スパ&リゾート社長）は、次のようなことを述べています。

単に外面だけが「きれい」になっても幸せではない。自分の幸せは、他の人の幸せにも繋がってこそそのもの。私は洗顔を通して、**自分を育てるための三つのアプローチ**などを教えている。

まずは**笑顔**、次に「ハイ」と肯定的な**返事**ができること、人の話を**頷きながら聞く**ということ。最低限この三つができているかどうかで**人生が大きく違ってくる**。

たいへん感銘を受ける内容です。そして、氏の言う人生の差が出てしまう三つのアプローチは、学校現場でもできると感じました。

指名されたら気持ちよく「ハイ」と返事をする。友達の発表や先生の話**を頷きながら聞く**。楽しい授業であれば、自然と笑顔になる。三つのアプローチが充実するような授業を展開していきたいものだと考えさせられます。



先日から卒業する**六年生に数学**の授業を始めました。まだ一つのクラスですが、子供たちの学ぶ力には驚かされました。主体的に学び合い、ほとんどの子が笑顔で学んでくれました。私の話もよく聴いてくれました。授業する私も**幸せ**な気持ちになりました。

**「日々の授業が子供たちの人生を変える」**

このことを心に刻み、授業実践をしていきたいです。

# 再発防止に向けて

県展に出品した作品が、長い期間、所在不明になっていたという事案が生じてしまいました。多くの方々、お子さんにご心配をおかけしてしまったことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

再発防止に向けて、『**児童の作品取扱規程**』を作り、全教職員で確認しましたので、報告させていただきます。

## 扇小学校 児童の作品取り扱い規程

### 1 前提

児童の作品（以下「作品」）は、児童が心血注いで作り上げた物である。よって、「作品」は『児童の一番の宝物』と捉えて取り扱うこととする。

### 2 掲示

破損、紛失等を防ぐため、「作品」の掲示期間は、以下の通りとする。

一 教室の廊下 …… 二ヶ月間以内

二 教室の中 …… 一ヶ月以内

\*フォルダー等に入れた物は例外とする

三 校内の特定場所 …… 一年間以内

一年間掲示する場合には、必ずケース等に入れる

\*掲示終了後は、迅速に児童に返却すること

\*掲示に際しては、保護者の同意を確認すること

### 3 出展

一 校外へ「作品」を出展する場合には、校長、保護者の許可を取ることとする

例 市内〇〇展、西部地区〇〇展、埼玉県〇〇展 その他展覧会

二 「作品」が校外から戻ってきた際には、校長室で保管することとする

\*保管後の掲示、返却は、保護者の同意を得た上で管理職と共に行うこと

(以下略)

## 六年生を送る会に向けて

練習や準備が進んでいます。

